

24時間365日、休まず働く下水道

次 世 代 へ つ な ぐ

SAPPORO SEWERAGE VISION 2020

札幌市下水道ビジョン

2020

概 要 版

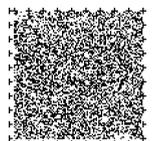


札幌市建設局

札幌市建設局では、今後10年間の下水道事業の方向性を示す「札幌市下水道ビジョン2020」を策定いたしました。

本概要版は、生活に欠かせない「下水道」について、より多くの皆さまにご理解いただけますよう、ビジョンの主な内容をコンパクトにまとめてお示しするものです。

このバーコードは、目の不自由な方が使用する音声読み上げ装置専用の音声コードです。



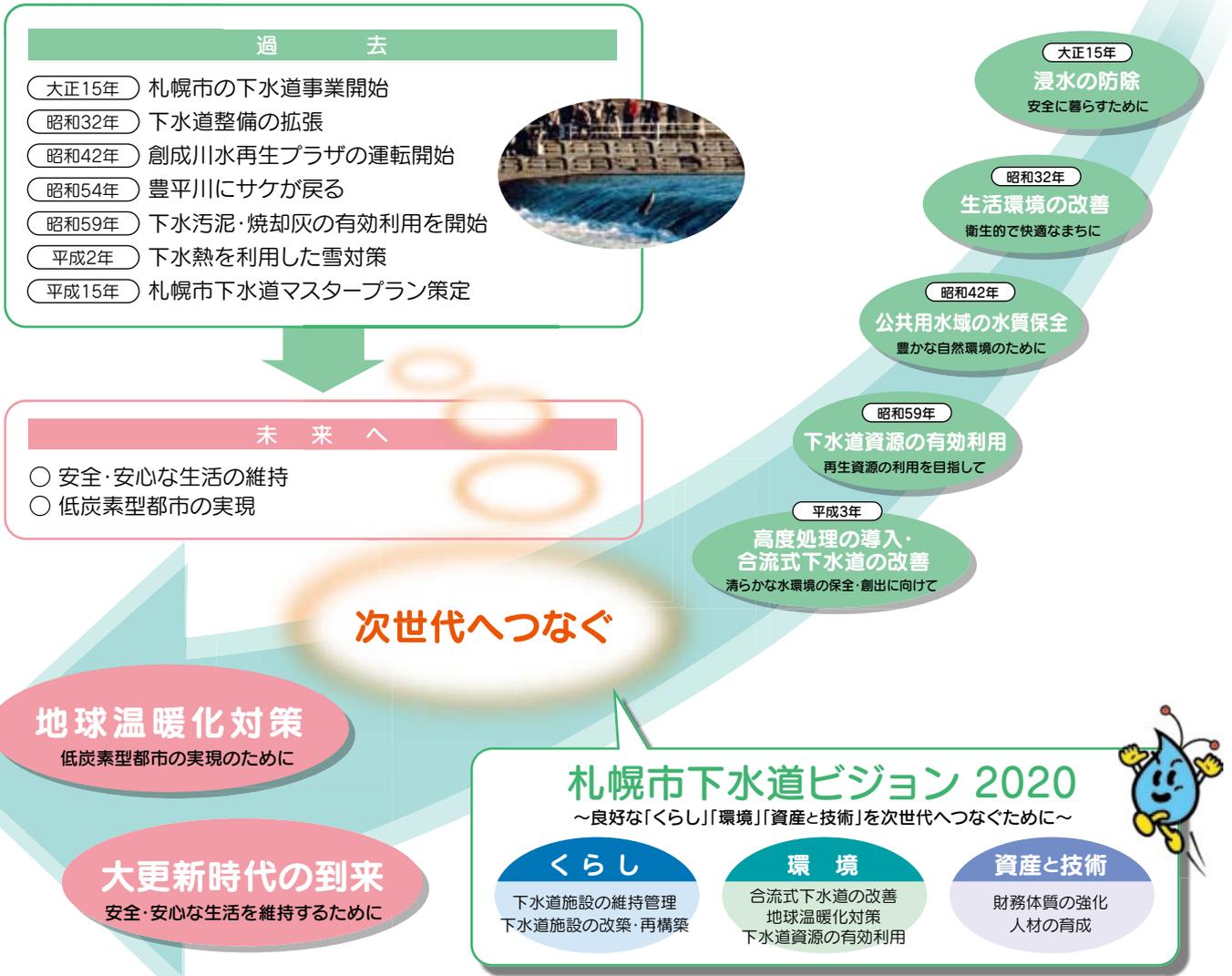
札幌市の下水道の「これまで」と「これから」



●札幌市の下水道のあゆみ

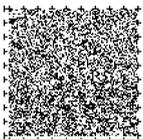
札幌市の下水道事業は、大正15年に雨水排除を主な目的として始まり、昭和30年代前半から、汚水処理を含めた下水道の拡張整備が進められ、現在では、ほとんどの市民が下水道を利用できる状況となっています。

近年では、下水熱を活用した雪対策や高度処理水によるせせらぎの回復など、下水道資源の有効利用も進めています。



●ビジョン策定の目的

施設の老朽化の進行、環境に対する市民意識の高まり、景気の低迷を背景とした使用料収入の伸び悩み等、下水道事業を取り巻く環境が大きく変化している中、下水道に求められる本来の役割を果たし、そして、次世代へ良好な生活環境や社会基盤施設を引き継ぐため、平成23年(2011年)から平成32年(2020年)までの10年間で、下水道事業が取り組むべき施策の方向性を示すことを目的にビジョンを策定します。



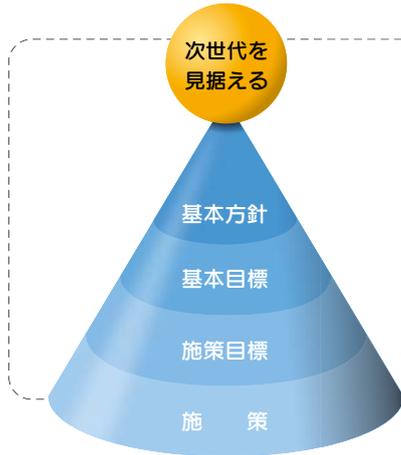
札幌市の下水道の使命と役割



●下水道と皆さまとの約束

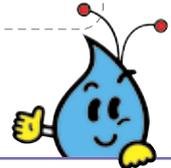
基本方針

次世代へ良好な「暮らし」「環境」「資産と技術」をつなぎます



札幌市の下水道事業が抱える現状と課題を踏まえ、下水道が持つさまざまな使命と役割を果たすため、平成10年4月に定めた基本理念「次世代を見据える」のもと、今後10年間の基本方針を定めました。

この基本方針のもと、3つの基本目標、5つの施策目標、10の施策を掲げ、事業の選択と集中を図りながら、効率的・効果的に下水道事業を進めます。



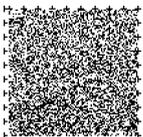
【札幌市下水道ビジョン2020 施策体系図】

基本方針	基本目標	施策目標	施策	
次世代へ良好な「暮らし」「環境」「資産と技術」をつなぎます	1 安全で安心な市民生活を維持します	1-1 下水道機能の維持	1-1-1 下水道施設の維持管理 重点施策 1-1-2 下水道施設の改築・再構築 重点施策	
		1-2 災害に強い下水道の実現	1-2-1 雨水対策 1-2-2 地震対策	
	2 環境に与える負荷の低減に努めます	2-1 清らかな水環境の保全と創出	2-1-1 合流式下水道の改善 重点施策 2-1-2 処理の高度化の推進	
		2-2 低炭素・循環型都市の実現	2-2-1 地球温暖化対策 重点施策 2-2-2 下水道資源の有効利用 重点施策	
	3 健全で持続可能な経営を目指します	3-1 経営基盤の強化	3-1-1 財務体質の強化 重点施策	3-1-2 人材の育成 重点施策

重点施策 10年間で特に重点的に進める施策

市民参画の推進

施策目標の達成に向けて、広報や広聴活動をより一層充実させ、市民参画型の事業運営に努めます。



「札幌市下水道ビジョン2020」の施策



●良好な「暮らし」を次世代へ

基本目標 ① 安全で安心な市民生活を維持します

みなさんの毎日の生活をしっかりと支えます

施策目標1-1 下水道機能の維持

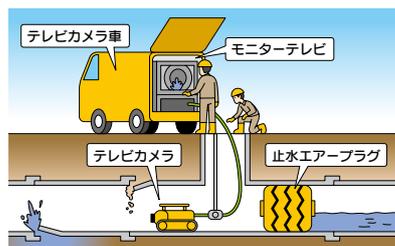
施策1-1-1 下水道施設の維持管理 **重点施策**

- テレビカメラを使った調査を行い、管路施設の状況を的確に把握して、修繕と改築の判定等を実施します。
- 水再生プラザの運転・水質管理の最適化に努め、安定した下水処理を継続します。

施策1-1-2 下水道施設の改築・再構築 **重点施策**

- 修繕による施設の延命化を図るとともに、来たるべき大更新時代に向けて、施設の改築時期や手法について検討します。

■ 管内のテレビカメラ調査



古くなった管内にテレビカメラを入れて、壊れた箇所や水の浸入などの異常を確認します。

■ 古くなった管の取り替え



傷みが激しい管を新しいものに取替えます。

施策目標1-2 災害に強い下水道の実現

施策1-2-1 雨水対策

- 浸水が発生している地区や大きな浸水被害が想定される地区について、重点的に、雨水拡充管や雨水ポンプ場の整備を進めます。
- 市民・企業・行政の協働による雨水流出抑制を進め、下水道への雨水流入量を減らします。

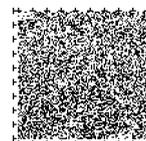
施策1-2-2 地震対策

- 都心部の緊急輸送道路下の管路耐震化を引き続き進めます。
- 水再生プラザ耐震化の新たな内容を、水処理機能維持の観点から検討します。

■ 協働による雨水流出抑制のイメージ



大雨が降った時に、下水道や川などに水が一気に流出しないようにするため、雨水を地中に浸透させたり、一時的に溜めたりするなど、市民・企業・行政が一体となった取組を進めます。





●良好な「環境」を次世代へ

基本目標 ② 環境に与える負荷の低減に努めます

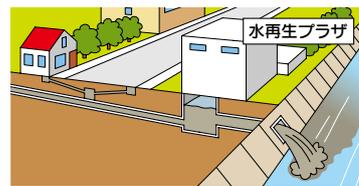
清らかな水環境の創出と地球環境にやさしいまちづくりに貢献します

施策目標2-1 清らかな水環境の保全と創出

施策2-1-1 合流式下水道の改善 **重点施策**

- 雨水貯留施設の設置など、効率的・効果的な対策を進めます。
- 吐口スクリーンなどの整備を継続し、河川へのごみ類の流出を抑制します。

■ 合流式下水道の大雨時の河川放流イメージ

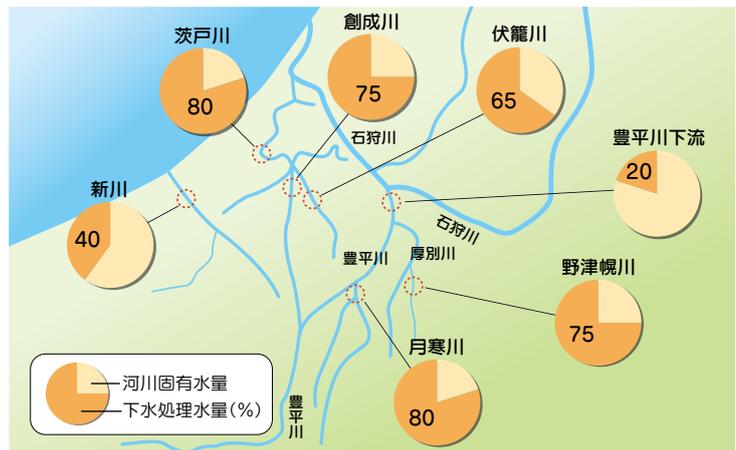


汚水と雨水を一つの管で流す合流式下水道では、大雨時に処理しきれない下水が河川に放流される場合があります。

施策2-1-2 処理の高度化の推進

- 放流先の河川に求められる水質を維持するために、最適かつ効率的な処理方法を選択し、良好な水環境の保全・創出に貢献します。

■ 晴天日の河川の水量に占める下水処理水量割合(平成18年度)



札幌市の一部の河川では、下水処理水の占める割合が高くなっています。

施策目標2-2 低炭素・循環型都市の実現

施策2-2-1 地球温暖化対策 **重点施策**

- 省エネルギー設備の導入などにより、温室効果ガスの削減に努めます。
- 新エネルギーの導入など、温室効果ガス削減の新たな施策の検討を進めます。

■ 省エネルギー設備の導入例(微細気泡散気装置)



小さな気泡を発生させることにより、下水中に酸素が溶けやすくなるため、送風量が抑えられ、電力使用量を削減することができます。

施策2-2-2 下水道資源の有効利用 **重点施策**

- 汚泥100%有効利用を引き続き進めます。
- バイオマスエネルギーの活用などを視野に入れた、有効利用メニューの多角化について検討します。

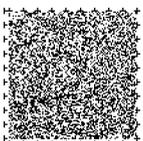
■ 汚泥有効利用の一例

西部SC焼却灰(クリンク状)

東部SC焼却灰(パウダー状)

埋戻し材としての利用

セメント原料としての利用





●良好な「資産と技術」を次世代へ

基本目標 ③ 健全で持続可能な経営を目指します

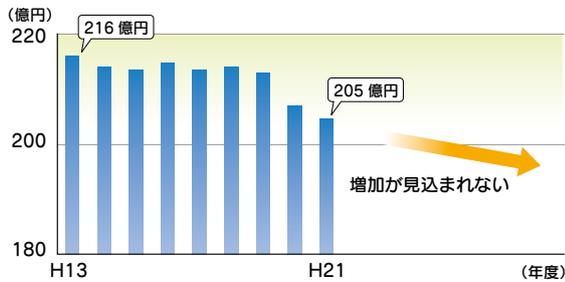
今後も良質な下水道サービスの提供を続けていきます

施策目標3-1 経営基盤の強化

施策3-1-1 財務体質の強化 重点施策

- より一層の経営の効率化に取り組むとともに、事業の選択と集中に努めます。
- 財政状況を踏まえながら、適正な受益者負担のあり方について検討します。

■ 使用料収入の現状と見通し



■ これまで実施してきた経営効率化策

- 組織体制の見直し
- 汚泥処理の集中化
- 民間委託化(施設の運転管理など)の推進
- ポンプ場の遠方監視化
- 人件費(手当など)の見直し

下水道のおサイフ

下水道事業会計の平成21年度の収入支出を1万分の1に縮小し、家計に例えて表すと…

収入

●給料	426万円
●基本給(下水道使用料)	205万円
●諸手当(一般会計繰入金)	221万円
●親からの援助(国庫補助金)	49万円
●ローン(企業債)	125万円
●その他(雑収入)	12万円
収入総額	612万円

支出

●食費(人件費)	57万円
●光熱水費、衣類や電化製品の購入・修理 (維持管理経費)	109万円
●家の増改築(建設改良経費)	135万円
●ローンの返済(企業債元利償還金)	331万円
●その他(雑支出)	5万円
支出総額	637万円

→不足額には、これまで蓄えてきた貯金(内部留保資金)を充当します。

平成21年度末内部留保資金残高:63億円
(貯金残高:63万円)

平成21年度末未償還残高:3,183億円
(ローン残高:3,183万円)

施策3-1-2 人材の育成 重点施策

- 技術研修や経営研修等を通して職員の技術・知識レベルの維持向上を図ります。
- 民間企業や研究機関との技術交流を深め、互いの技術力の向上を目指します。

■ 下水道実務発表会

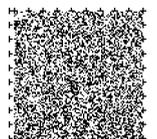


業務事例等についての各職場からの発表会

■ 処理施設維持管理実習研修



模擬装置を活用した電気設備研修



円滑な事業運営に向けて ～市民参画の推進～

下水道事業は、多くの市民の皆さまに利用されている生活に密着している事業です。市民の皆さまの信頼に応え、円滑に安定した事業運営を進めていくためには、皆さまのご理解とご協力が必要です。

札幌市下水道ビジョンの実現に向け、各施策を展開する上で市民参画の推進を意識し、「情報共有」と「市民参加」の視点から、広報や広聴活動の充実に努めてまいります。

水再生プラザの市民見学会



実際に下水がきれいになる過程を観察しながら、下水道を身近な存在として体感してもらう機会を提供します。

下水道科学館による環境教育



普段は目に見えない下水道の仕組み全般を「安全に」「楽しみながら」「体験できる場」を提供し、次世代を担う子どもたちの環境教育に取組みます。

情報共有

下水道モニター制度



下水道モニター制度を活用し、「市民への情報提供」「市民参加」を進め、事業の効率的・効果的な運営に反映します。

パンフレット作成ワークショップ



ワークショップや意見交換会の開催、パブリックコメントやアンケートの活用により、市民の皆さまの意見を事業に反映させる取組を進めます。

市民参加

ビジョンの実現に向けて

ビジョンの実現に向けて、「札幌市下水道事業中期経営プラン2015」(仮称)を策定・実行し、指標などを用いて年度毎にプランの実施状況を確認するとともに、プランの評価を行います。

さらに、プランの評価に基づき、次期経営プランを策定し、ビジョンの実現を目指します。

札幌市下水道事業中期経営プラン2015(仮称)



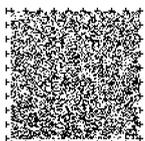
後期 中期経営プラン



100 このパンフレットは古紙100%の再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インクで印刷しています。



さっぽろ市
02-U00-10-1291
22-2-216

札幌市建設局 下水道河川部 経営管理課

TEL 011-818-3452
FAX 011-812-5203
E-mail gesui@city.sapporo.jp
URL <http://www.city.sapporo.jp/gesui/>
所在地 〒062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2-1
地下鉄東豊線 学園前駅 出口1番から徒歩5分